全高国教発第１８０６１８０１号

平成３０年６月１８日

各都道府県教育委員会国際教育担当主管課長　様

各都道府県（高等学校）国際教育研究協議会会長　様

各都道府県（高等学校）国際教育研究協議会事務局長　様

各高等学校・中等学校・中学校長　様

各学校国際教育担当教諭　様

関係諸機関およびＮＰＯ・ＮＧＯ・企業各位

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 全国国際教育研究協議会会長

早川信一（東京都立多摩工業高等学校長）

第５５回全国国際教育研究大会会長

　 東京都国際教育研究協議会会長

大泉　昌明（東京都立五日市高等学校長）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（公印省略）

第５５回全国国際教育研究大会東京大会のご案内

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、高等学校等における国際教育の推進および本協議会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、標記の第５５回全国国際教育研究大会を、下記の要項及び申込書のとおり、本年８月７日（火）、８日（水）の２日間にわたり、東京で開催するはこびとなりました。つきましては、大会の趣旨をご理解いただき、関係教職員および担当職員等の参加に格別のご高配を賜り、多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

１　第５５回全国国際教育研究大会東京大会　開催要項

２　第３８回高校生英語弁論大会　開催要項

３　第１８回高校生日本語弁論大会　開催要項

４　第５５回全国国際教育研究大会東京大会　申込書

以上

**料第55回全国国際教育研究大会(東京大会)開催要項**

**大会テーマ**

**「東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催を控えた多文化共生社会の在り方を求めて**」

１　大会趣旨

国際的な相互依存関係が深化し拡大する中で、国際社会が直面する様々な課題を解決することが求められています。その課題を解決する主体者には国や組織といった単位だけではなく、一人一人が地球市民としてその解決に取り組むグローバルな視野が必要です。このグローバルな視野をより一層育むためには、まず自分が住んでいる郷土の魅力を知ることに努め、地域の課題に関心をもつことが大切です。それらを地球規模の問題として捉え直すことで、国際社会の中で自分は何ができるかを考えることができます。また、身近なところに潜む人権問題や環境問題などに関心をもつことは、空間的にも文化的にも隔たりのある海外の課題を理解し、解決しようとする意欲へとつながります。

日本の首都東京には、多くの在日外国人が居住しています。そのため、日常的に異文化との交流やグローバルな視野で多文化共生社会の諸課題を捉えることが比較的容易な環境にあります。その東京で、２年後の２０２０ 年には、オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。また、国連が提唱する「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」を受けて、オリンピック・パラリンピック実施後のレガシーの在り方についても大いに関心をもち、積極的に当事者として関わろうとする態度や姿勢が求められます。

以上の理由から、次世代を担う高校生とともに、これらの課題を考える機会として、本大会のテーマを設定しました。

２　主催　　　全国国際教育研究協議会

３　共催（申請中を含む）

関東甲信越静地区高等学校国際教育研究協議会・東京都国際教育研究協議会・

独立行政法人国際協力機構（JICA）・東京都教育委員会・特定非営利活動法人全国国際教育協会

４　主管　　　東京都国際教育研究協議会

５　後援・協賛（申請中を含む）

　　文部科学省・一般財団法人日本国際協力センター・独立行政法人国際交流基金・

神奈川県教育委員会・千葉県教育委員会・埼玉県教育委員会・茨城県教育委員会・栃木県教育委員会・群馬県教育委員会・長野県教育委員会・山梨県教育委員会・公益社団法人青年海外協力協会

６　日時　　平成３０年８月７日（火）　９：３０～１７：３０

８月８日（水）　９：００～１２：４０

７　会場　　国際協力機構（JICA）地球ひろば

〒162-8433　　東京都新宿区市谷本村町10-5（JICA市ヶ谷ビル内）　　TEL: 03-3269-2911

ＪＲ・東京メトロ市ヶ谷駅より徒歩１０分

８　参加対象　　（※クール・ビズ対応での出席をお願いします。）

　　全国国際教育研究協議会加盟校の教職員および生徒

　　第38回高校生英語弁論大会および第18回高校生日本語弁論大会の出場生徒・引率者・保護者

第７回高校生国際理解・国際協力に関する生徒研究発表会の出場生徒・引率者・保護者

　　国際協力・交流・理解、開発教育等に関心のある教職員・生徒・保護者等

　　国際教育や開発教育にかかわるＮＧＯ・ＮＰＯおよび企業等の役職員・会員等

９　大会日程

第１日目 平成３０年８月７日（火）

９：００～９：３０ 　受付（２階　国際会議場前ロビー）

９：３０～１０：００ 開会行事（２階　国際会議場）主催者等挨拶、功労者表彰、諸連絡

１０：１５～１２：３０ 第38回高校生英語弁論大会・第18回高校生日本語弁論大会（２階国際会議場）

１２：３０～１３：３０ 昼食 / 休憩 （６階６００）

１３：３０～１４：３０ 講演（東京都教育委員会）（２階　国際会議場）

「東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催を控えた多文化共生社会の在り方に関する講演」

１４：４０～１６：２０ 第７回国際理解・国際協力に関する高校生研究発表会（２階国際会議場）

◆「多言語交流部（ワン・ワールド）からのメッセージ」東京都立一橋高等学校　多言語交流部

◆「食を通しての異文化理解」横浜清風高等学校　横浜清風インターアクトクラブ

◆「地方都市のインバウンド対策の現状」と「多文化共生の今後のあり方」について

（研究→取材／調査→発見→発信活動の報告とその成果）　岩手中学校・高等学校　国際交流部

◆「ニューカマー外国人への防災教育」兵庫県立柏原高等学校　ボランティア部（インターアクトクラブ）

◆「アフリカ・マラウイの保健衛生概念・状況の向上」宮崎学園中学校・高等学校　インターアクト部

◆ 「DREAMS COME TRUE ～みんなの想いと共に～」徳島県立徳島商業高等学校

　ビジネス研究部　校内模擬会社ComCom

◆「海外に子ども用車椅子を」東京都立多摩工業高等学校　JRC部

１６：２０～１６：５０ 後援団体の団体紹介及び台湾の高校生による研究発表

１６：５０～１７：３０ 表彰式（２階　国際会議場）

弁論大会および研究発表会の講評・審査結果発表、諸連絡、記念撮影

１７：４０～１８：２０　全国事務局長会議（２０２ＡＢ）

１８：００～２０：００ 生徒交流会　地球体験学習（１階　体験ゾーン及び市民のひろば）

* 軽食をご用意します。（１人５００円）

１８：３０～２０：３０　教育懇談会（２階　J’s Cafe）

第２日目　 平成３０年８月８日（水）

８：３０～ ８：５０ 受付（２階　国際会議場前ロビー）

９：００～１１：００ 教育実践発表会（分科会）（２階　２０２ＡＢ・大会議室）

分科会１（２０２）

* 「タイ国カセサート大学附属高校との国際交流と出前授業～ＳＳＨ研究開発および「化学英語」、英文アブストラクトの作成、ブリティッシュカウンシルとの交流を通して」　（９：００～１０：００）

東京工業大学附属科学技術高等学校　森安　勝

ＳＳＨ研究開発の一環として、タイ国カセサート大学附属高校との国際交流が始まり、第４期目の研究開発を実施中である。生徒引率とともに、出前授業を行っており、そこで実施している「化学英語」および「英文アブストラクトの作成」、SGH指定校等の取り組みについて報告する。

* 「ＴＯＫＹＯ ＧＬＯＢＡＬ ＧＡＴＥＷＡＹが目指すもの」（１０：００～１１：００）

東京都教育委員会

東京都の施策の１つで、２０１８年９月に開設予定の東京英語村（TOKYO GLOBAL GATEWAY）の取り組みについて、内容等を詳しく紹介する。

分科会２（大会議室）

* 「国内における多文化共生」（９：００～１０：００）

東京都立一橋高等学校　角田　仁・小林　佳朗

東京都立一橋高校には様々な外国籍の生徒がおり、多言語交流部の活動が活発である。こうした事例から、国内における多文化共生のあり方やNPOや大学との連携について、発表する。

* 「海外フィールドワーク・スタディーツアーの構築に関する報告」（１０：００～１１：００）

順天中学校・高等学校　三井田真由美

SGHに指定された本校では、フィリピンで活動するNGOのCFFと協働でプログラムを作り上げることになった。生徒は課題を自分で決め、研究計画書に沿って進めていくので、定期的にCFFのスタッフにもワークショップに参加してもらい、サポートやアドバイスもお願いした。外部の社会資源としてNGOの力を取り入れることによって、有意義なスタディーツアーを行うことが可能となる。その取り組みについて報告する。

　　 ９：００～１１：００ 生徒対象「ＳＤＧｓの理解を深めるチョコレートを用いたワークショップ」

（国際会議場） 講師：東京都立武蔵高等学校　山藤旅聞

１１：１５～１２：１５ 記念講演「義肢装具士が見たパラリンピック」（２階　国際会議場）

　　　　　　　　　　　　講師：高橋 俊潤氏（オットーボック・ジャパン株式会社、元青年海外協力隊員）

１２：２０～１２：４０ 閉会行事（主催者挨拶、次期開催県挨拶、諸連絡）（２階　国際会議場）

10　記念講演　講師紹介

講師　　　高橋 俊潤（オットーボック・ジャパン株式会社）

〔略歴〕 1990年4月から2年間、青年海外協力隊の図学隊員としてバングラデシュで活動した。

2008年にオットーボック・ジャパン(株)に入社し、主に自社製品の修理に従事し現在に至る。

2016年のリオデジャネイロパラリンピック夏季大会、2018年のピョンチャンパラリンピック冬季大会に修理要員（義肢装具士）として参加した。

11　大会参加申込み方法

弁論大会参加生徒及び引率者も含めて、必ず所定の申込用紙を、<http://jafie.jp/からダウンロードし、必要事項>を記入して、７月２０日（金）までに、大会事務局長（東京都立五日市高等学校　中村俊佑）までE-mail（[55tokyo@jafie.jp](mailto:55tokyo@jafie.jp)）にて申し込んでください。両日の参加が基本です。

12　交通アクセス（各駅からいずれも、徒歩１０分以内です）

* ＪＲ中央・総武線　「市ヶ谷」
* 東京メトロ有楽町線・都営地下鉄新宿線　「市ヶ谷」

Ａ１番／４番出口

* 東京メトロ有楽町線・南北線　「市ヶ谷」６番出口

13　経費

（１）大会参加費

教　員　　　３０００円

一　般　　　１０００円

（両日に参加が基本なので、１日だけの参加でも同額です。）

**高校生以下は、無料**

（２）教育懇談会参加費　　　1人３０００円